

わかやま母親通信

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第68号 2018年10月1日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp

母親大会は、始まりの時から、ただ一つのスローガン HP 和歌山県母親大会

生命(いのち)を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

だけで集い、話し合い、一致点を大切に行動してきました。日本国憲法に励まされた女性たち主軸の、誰でも参加できる草の根につながりだと言えます。

毎年、日本母親大会に参加された方からは、「元気がもらえた。全国のことがよく知れた。確信が深まった。」との声が聞かれます。これからも、この幅広い集まりを、そして、全国各地での手作りの集まりを大切にしていきたいですね。

第64回日本母親大会 in 高知

～8月26日 分科会参加者の感想から②～

伊都 退教協 E. U.

15 青い地球を子どもたちにー地球温暖化 いま私たちにできること

気候ネットワークの若い方が助言者で、的確に資料を駆使して、説明してくれました。地球温暖化については、ずっと以前から問題視されていたので、現役のころから、私自身のテーマでもありました。新築の時に思い切って太陽光発電を取り付け、18年間発電し続けて家計も助かっています。



福島原発事故以来、「原発はいらない」という思いの人は多いが、再稼働の動きや火力発電で不足を補う大手のやり方が、お金もかかるし、温暖化も加速させるとのこと。地球にやさしい再生可能エネルギーに早く切り替えるべきだと。今はそんな環境にやさしいエネルギー供給をめざす電力会社も出来ているし、増えつつあるようだし、会社名も一覧表に。手続きも簡単だそうで、思い切り切り替えてみようとも思っています。

第65回日本母親大会へ みんな連れもて行こら～

○日 時 2019年8月24日(土)～8月25日(日) ○場 所 静岡県

○新幹線で行けますから、各自・グループでということになるでしょう。

大会日前後の観光も兼ねて、というのも良いのではないのでしょうか。

* 今からワンコイン貯金を始めて、観光の計画と旅費の準備をお願いします。

*引き続き 15 青い地球

海草 新婦人 E. K.

日頃より、原発、ごみ問題が気になっていましたが、今日は分かりやすく話して下さいました。未来の子どもたちのためにも、自然エネルギー、再生可能エネルギーに力を注ぐことの必要性に、目を開くきっかけをいただきました。

日本の原発事故の政府検討委員会のメンバーは、女性13%で、男性87%だそうです。女性NGOから「本日の化石賞」を取得したとのこと。つまり、日本は世界の環境政策の足を引っ張っている賞で、恥ずかしい日本の環境政策の現状を知りました。

海草 新婦人 K. S.

気候ネットワークの方のお話はとても分かり易く、またみなさんの質問にもとってとてもいねいに答えていました。脱原発とCO2削減は両立可能ということでした。地球温暖化のことを真剣に考え、脱原発を叫び、再生可能エネルギーへ転換するにはどうしたらいいかと、いろいろ勉強になりました。



26 文化で地域を元気に

海草 新婦人 Y. Y.

何かヒントをもらえる分科会をと選んだのですが、午前中は高知の女性の生き方などの話が多く、少々がっかりでしたが、午後からの交流会では地域の人の声をいろいろ聞けて、良かったです。自分の家を解放することで、きれいに掃除するようになったことや人見知りの夫が少しずつみんなの前に出てくるようになった話などがありました。

高知県って、坂本龍馬やはりまや橋ぐらいしか知りませんでした。日本で最初に女性参政権が実現、自由民権運動の発祥の地など、進んだ県だったことを知りました。

海草 新婦人 K. S.



考えていた内容とは違ったのですが、かえって良かったと思いました。

“はちきん”という言葉で表わされる土佐の女性の気質「働き者が多く男勝りで振り返ることなく前進し続ける行動力」と「自分の正しさを大事にする」—そのはちきんを生かした地域づくりがテーマでしたが、パネラー3人がとにかく元気でした。

その一人、元高知大学学長(女性)は、「母ははちきんでした。けれど、出身は和歌山です。」とおっしゃっていました。はちきんはDNAにあらず、文化と環境がつくると。

高知人には、直木賞作家が多いとか、漫画家も多いなど、いろいろなエピソードも知ることができました。楽しくて、あっという間に過ぎました。

16 原発ゼロの日本をめざして—放射性廃棄のものだい 再稼働反対の運動交流

西牟婁 新婦人 Y. N.

夫をショートステイにあずけての参加で、ちょっとほっとして気分転換できました。

和歌山県—紀伊半島に原発を作らせなかった運動と核のゴミの貯蔵施設はいらんとという運動について発言して来ました。

移動分科会 27 自由は土佐の山間より 路面電車で行く自由民権の旅

伊都 新婦人 M. I.

人気の高い分科会に、県から私一人が抽選でゲット(4倍と聞いた)! ありがとう。路面電車「土電」で「自由民権資料館」へ。講師の「植木枝盛の女性解放論」を聴く。彼の憲法草案にはすでに、「国の基礎は個人」「男女平等」などが謳われ、鈴木安蔵の草案に活かされ、「押しつけ憲法」論に反論できる確信を。



民権ばあさん]と言われた楠瀬喜多の(一時的ではあったが)、日本初の「婦人参政権」など、「自由は土佐の山間より」のまちを学び、土佐の“はちきん”“いごっそう”の豪気に触れられたお得な分科会でした。

13 人権としての社会保障—だれもが安心して受けられる医療・介護・福祉・年金を

和歌山市 年金者組合 K. I.

年金分野では、少子高齢化の進行に連動して高齢者の生活水準が抑えられる年金政策。医療分野においては、後期高齢者医療制度は少子高齢化の進行に伴って、後期高齢者の医療保険料の負担が上昇することにより、高齢者の生活困窮化が制度的に生み出される仕組み。介護分野では、「制度の効率化」として益々「負担貧困」が拡大する。

児童福祉分野においては、待機児童対策の名目で、子ども・子育て支援新制度が導入されたが、保育の資格条件は緩和され、保育実施責任の限定と保育の質の低下を促すような制度化が図られている。生活保護分野では、生活扶助費が大幅に削減され、母子加算も削減される。

以上のように、近年の社会保障制度改革の特質である「給付の適正化」「制度の効率化」が、生活困難・負担貧困の増大・生活の質の低下をもたらし、貧困を解決するはずの社会保障が、その改革を通じて貧困を制度的に再生産するというパラドックスに陥っている。「適正化」「効率化」という言葉はあくまでも国が都合よく使って、保障は少なく、個人の負担は多くしようとする政策である。軍事費を削って、大企業優遇を止めれば、お金はたくさんあるはずである。もっと国民のことを考えて、健康で文化的な最低限度の生活を保障してくれなくては困る。



21 憲法施行 71 年—今こそ、くらしに憲法を生かそう

伊都 新婦人 A. M.

日本国憲法は平和憲法。戦争へのブレーキどころかアクセルもない。今、自民・公明が狙う改憲案は、自衛隊を書き込み、(アクセルばかりで)ブレーキがない。助言者の危機意識を、私たち母親はしっかり受け止めて、子どもを守るため力を合わせて行きたい。

第 11 条…基本的人権は侵すことのできない永久の権利をとして与えられる。…

第 12 条…自由・権利は、国民の不断の努力によって保持しなければならない。…

まさに、今こそ憲法=檻 の破壊を食い止めないとね。

12 自然災害に強い町づくりー東北・熊本地震からの復興 南海地震に向き合う

西牟婁 教組 K. T.

高知大学の先生の、地震と災害はイコールではないというお話、黒潮町の住民目線の緻密な取り組みをうかがい、振り返って、和歌山の紀南地方の津波対策、災害対策はと思うと、ずいぶん心細いものを感じます。やはり地域で声を挙げていくことの大切さを感じました。参加された福島の方の「私たちは、故郷を捨ててきた」というお話に、政府の原発政策に改めて怒りがわきました。

14 不安がいっぱい税の集め方・使われ方ー税制改正のもんだい 暮らしと地域経済をどう守る

県母連 M. Y.

戦争の財源は、消費税と国債だと知りました。消費税は社会保障拡充のためというのほうで、この5年間で社会保障費は3兆4500億円も減らされています。国保料も増え介護保険料は2倍に、等々…。増税を繰り返し、次々と新しい税をつくっています。

税金は富裕層や大企業に応分の負担をさせ、生活費に課税しない税制に変えてほしいです。そして、消費税10%は中止し、消費税を廃止すべきです。軍事費を削減し、教育費を無償にし、給付型奨学金をつくらなくてはと、つくづく思いました。

さまざまなお意見・ご要望より②



* 台風が去った荒波の桂浜(24日午後)から始まり、予想以上に美しく素敵だった「モネの庭」(25日午前)に大感激。テンションが上がった所からの大会(全体会)へ参加しました。* 草の家も勉強になりました。

- * 町中に案内の方がたくさん立っておられて、迷わず会場まで行けました。
- * 歓迎の看板や暑い中で立ってくださっている案内の人を見かけ、嬉しく思いました。
- * 保育を2日間利用しました。子どもたちはとても楽しかったようです。
- * 暑い中での開催だったので、全体会場でのお茶や水の販売があればと思いました。
- * トイレにも冷たいものの販売所にも長い行列が…。水分・塩分補給の店も少なかった？
- * 全体会場から出るとき、府県ごとに誘導してくれたので、スムーズに退出できました。
- * 分科会のお弁当配布がスムーズでした。見た目もきれいで美味しくて感激しました。
- * 全体会場の両端に大きいスクリーンが設置されていて見やすかったです。
- * 台風のせいで行きが陸路になったので、帰りはフェリーで帰れないかなと思いました。
- * バスの中でみなさんの想いや意気込みが聞けて、また頑張ろうとパワーをもらえました。
- * とても充実した3日間を過ごさせていただきました。バスの移動はとても楽でした。
- * 3日間の日程で、余裕のあるスケジュールで良かったという反面、来られなかった人もいたので、来年はまた違った日程を考えて頂けたらと思います。

さまざまなお感想、ご意見をありがとうございました。